

かけはしがわ



発行 国土交通省金沢河川国道事務所

梯川分水路 通水記念式典 ～小松地区のまちづくり・川づくり・道づくり～

梯川の河口から3.0km右岸付近には、国指定重要文化財の小松天満宮があり、地域のシンボルとなっています。このため、平成8年に文化財保護の視点より、小松天満宮の移設を伴う引堤計画から文化財の現位置保全を可能とする分水路計画に変更しました。平成11年には、分水路計画についての都市計画決定がなされ、その後から現在に至るまで、まちづくり・川づくり・道づくりが一体となった整備が進められています。

平成28年11月20日(日)、梯川分水路の通水を記念した式典が行われ、治水事業の役割や効果を地域の皆さまにご理解いただくとともに、防災意識の高揚を図りました。

また、平成29年度には梯川分水路事業が完成する予定です。その際には、事前に周辺のみなさまにお知らせ致しますので、ご理解・ご協力をお願いします。



梯川分水路概要
整備内容：輪中堤 L=約480m、分水路(掘削) L=約210m、築堤(外周堤) L=約440m
その他 小松大橋架替、天神水管橋架替、市道付替、水路付替、排水涵管など
事業着手：平成12年度～平成28年度
総工事費：約62億円



歴史的町並みの整備状況
(小松市大川町地先)

重要文化財となっている本殿と神門

小松天満宮とは前田家3代当主利常が隠居し、居城を金沢から小松に移す際、当地と小松城の鎮護のため、鬼門の位置である梯川のほとりに1657年創建したものです。それは京都の北野天満宮を1/4の大きさで模したとされ、昭和36年に国重要文化財に指定されています。

| 梯川分水路改修のあゆみ | |
|-------------|--|
| 昭和34年 8月 | 台風7号による洪水(小松大橋地点1,390m ³ /s(推定)) 本川・支川等堤防決壊、浸水家屋390戸 |
| 昭和46年 | 梯川一級河川指定 工事実施基本計画策定(基本高水流量 1/100:小松大橋地点1,700m ³ /s) |
| 昭和49年 | 梯川改修計画策定(洪水調節施設で調節した後の河道流量: 小松大橋地点1,000m ³ /s) |
| 平成7年 | 梯川技術検討委員会設立(分水路計画の水利模型実験を実施) |
| 平成8年 5月 | 直轄河川改修計画改訂(分水路計画追加) |
| 平成11年 1月 | 都市計画決定(前川合流点から白江大橋:分水路計画、小松 大橋架替、市街地再開発との調和) |
| 平成12年 | 分水路関連用地買収着手(事業着手) |
| 平成18年 | 小松大橋架替着手(工事着手) |
| 平成19年～ | 小松天満宮整備計画評価委員会設立(環境変化予測及び環境 保全手法の検討) |
| 平成20年 6月 | 梯川水系河川整備基本方針策定 |
| 平成28年 3月 | 梯川水系河川整備計画策定 |
| 平成28年11月 | 梯川分水路通水 |
| 平成29年度 | 梯川分水路事業完成予定 |

通水記念式典開催概要

～式典次第～

- 式辞 和田小松市長
- 挨拶 国土交通省 泊治水課長
- 祝辞 佐々木衆議院議員
谷本石川県知事(代理)
- 工事説明
- 通水 くす玉開披
- その他 ドローン空撮
録画ビデオ放映
パネル展示

通水の瞬間

くす玉開披の様子

分水路改修の必要性



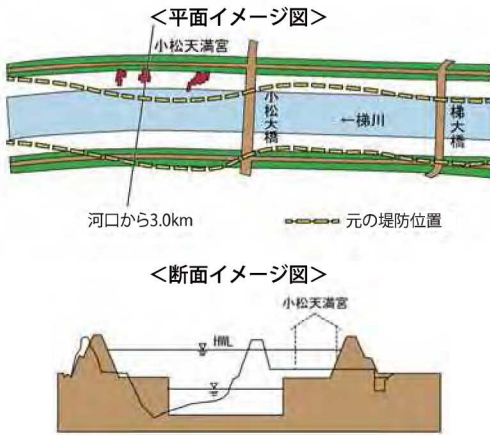
小松天満宮付近の河川は、従来の川幅が約80mしかなく、洪水時の流下能力が不足して危険な状態にあり、川幅を100m程度にひろげて洪水を流れやすくする必要があります。

一方、小松天満宮は、小松市の成り立ちに関わる歴史的・文化的なシンボルであり、国指定の重要文化財であることから、現位置の保存が求められました。

地域を洪水から守るために早期の河川改修が必要であり、模型実験等の技術的な検討を踏まえて、川の流れを分派させて、小松天満宮境内を中の島とする分水路方式による整備を実施することになったものです。

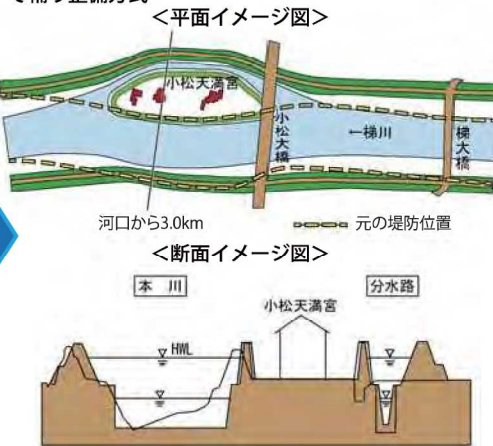
直線河道による整備(従来の河川整備方式)

3.0km付近の湾曲している堤防を直線化するとともに、流下能力の向上を図るために引堤する整備方式



分水路方式による整備

小松天満宮境内を中の島として現位置に残し、川の流れを分派させて、本川の流下能力の不足分を分水路によって補う整備方式



技術検証により練り上げられた分水路計画



分水路決定に際しては大規模な模型実験による技術的な検討による安全性の検証が行われました。



河川工学の専門家による技術検討委員会により、分水路方式による河川改修計画について技術的な審議がなされました。

分水路改修の移り変わり



梯川分水路は、平成8年の計画決定から20年、平成12年の用地買収着手から16年を経て、平成28年11月に通水を迎えました。

分水路改修では地域住民のみなさまにご協力いただき、本川右岸堤や輪中堤、分水路等の工事を進めるとともに、支川付替や市道付替、本川左岸引堤や小松大橋架替等の関連工事を行っています。

また、本川左岸側では市街地再開発などのまちづくりも進められています。

着手前(平成17年4月撮影)



分水路改修の着手前

工事中(平成24年3月撮影)



- ①文田川・西川の付替完了
- ②市道付替完了
- ③天神水管橋架替完了

現在(平成28年6月撮影)



- ④小松大橋架替完了
- ⑤梯川本川右岸堤防整備完了
- ⑥天満橋架橋完了
- ⑦河川管理橋架橋完了
- ⑧輪中堤・分水路概成



『水防災意識社会再構築ビジョン』に基づく取組

国土交通省では平成27年9月の関東・東北豪雨災害を踏まえ、「水防災意識社会再構築ビジョン」として、国で管理する全ての直轄河川とその沿江市町村において、平成32年度を目途に水防災意識社会を再構築する取組を行うこととしました。

これを受け、金沢河川国道事務所では手取川、梯川流域の市町(小松市、白山市、能美市、野々市市、川北町)、石川県、金沢地方气象台、金沢河川国道事務所などをメンバーとした「手取川・梯川大規模氾濫に関する減災対策協議会」を平成28年5月9日に設立し、平成28年8月31日に「手取川・梯川流域の減災に係る取組方針」を取りまとめました。



協議会の様子

このうち梯川では以下を目標として、河道掘削や堤防法尻の保護などのハード対策、外水・内水の複合氾濫を想定したハザードマップの改善や浸水継続時間の短縮を図るための排水計画の作成などのソフト対策を実施していく予定です。

- 梯川の大規模水害に対し、自然排水が困難な低平地が広がる地形特性を踏まえ、
- ①住民の間に市街地における水害リスクへの理解を広め、
『安全な場所への確実な避難』の態勢を構築する
 - ②関係機関の連携のもと、ハード及びソフト対策への取り組みを進め、
『社会経済被害の最小化』を図る
を目標とする。

水防災意識社会再構築ビジョン

関東・東北豪雨を踏まえ、新たに「水防災意識社会再構築ビジョン」として、全ての直轄河川とその沿江市町村(109水系、730市町村)において、平成32年度を目途に水防災意識社会を再構築する取組を行う。

<ソフト対策> 住民が自らリスクを察知し主体的に避難できるよう、より実効性のある「住民目線のソフト対策」へ転換し、平成28年出水期までを目途に重点的に実施。

<ハード対策> 「洪水を安全に流すためのハード対策」に加え、氾濫が発生した場合にも被害を軽減する「危機管理型ハード対策」を導入し、平成32年度を目途に実施。

主な対策 各地域において、河川管理者・都道府県・市町村等からなる協議会等を新たに設置して減災のための目標を共有し、ハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進する。

<危機管理型ハード対策>

○越水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう堤防構造を工夫する対策の推進
いわゆる粘り強い構造の堤防の整備

<被害軽減を図るための堤防構造の工夫(対策例)>

天端アスファルト等が、越水による侵食から堤体を保護(鳴瀬川水系吉田川、平成27年9月関東・東北豪雨)

<洪水を安全に流すためのハード対策>

○優先的に整備が必要な区間において、堤防のかさ上げや浸透対策などを実施

<住民目線のソフト対策>

○住民等の行動につながるリスク情報の周知

- ・立ち退き避難が必要な家屋倒壊危険区域等の公表
- ・住民のとるべき行動を分かりやすく示したハザードマップへの改良
- ・不動産関連事業者への説明会の開催

○事前の行動計画作成、訓練の促進

- ・タイムラインの策定

○避難行動のきっかけとなる情報をリアルタイムで提供

- ・水位計やライブカメラの設置
- ・スマホ等によるプッシュ型の洪水予報等の提供

家屋倒壊危険区域※

※ 河川堤防の決壊に伴う洪水氾濫により、木造家屋の倒壊のおそれがある区域

詳しくは下記のURLに協議会資料を掲載していますのでご覧ください。

『手取川・梯川大規模氾濫に関する減災対策協議会』ホームページ
<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/chisui/gensaitaisaku/kyougikai.html>

平成 28 年12月末現在、下記に示す改修工事 (①~⑩) が完成あるいは施工中となっています。施工が完了した箇所におきましては周辺のみなさまにご協力いただきましてありがとうございました。また、工事期間中はご迷惑をお掛けするかとと思いますが、ご理解・ご協力をお願いします。

平成 28 年12月末時点

| 番号 | 工事名 | 工期 | 受注者 |
|----|------------------------|---|-----------|
| ① | H27梯川護岸補修工事 | 平成 28 年 3 月 15 日 ~ 平成 29 年 3 月 28 日 (予定) | 株式会社 丸西組 |
| ② | H27梯川天神輪中堤下流工事【完成】 | 平成 28 年 3 月 11 日 ~ 平成 28 年 10 月 17 日 (完成) | 株式会社 丸西組 |
| ③ | H28梯川天神輪中堤工事 | 平成 28 年 8 月 6 日 ~ 平成 29 年 3 月 15 日 (予定) | 株式会社 江口組 |
| ④ | H27-28梯川白江低水護岸その1工事 | 平成 28 年 3 月 19 日 ~ 平成 29 年 6 月 30 日 (予定) | 株式会社 吉光組 |
| ⑤ | H27-28梯川白江低水護岸その2工事 | 平成 28 年 3 月 19 日 ~ 平成 29 年 6 月 30 日 (予定) | 株式会社 丸西組 |
| ⑥ | H28梯川一針築堤外工事 | 平成 28 年 11 月 16 日 ~ 平成 29 年 3 月 28 日 (予定) | 株式会社 江口組 |
| ⑦ | H28梯川古府築堤及びびコノ排水樋管改築工事 | 平成 28 年 9 月 24 日 ~ 平成 29 年 3 月 27 日 (予定) | 株式会社 豊蔵組 |
| ⑧ | H27梯川荒木田築堤護岸工事 | 平成 28 年 3 月 16 日 ~ 平成 29 年 1 月 31 日 (予定) | 酒井工業 株式会社 |
| ⑨ | H28梯川下浦排水樋管改築工事 | 平成 28 年 11 月 16 日 ~ 平成 29 年 7 月 31 日 (予定) | 中島建設 株式会社 |
| ⑩ | H27梯川中海堤防補強工事【完成】 | 平成 28 年 3 月 16 日 ~ 平成 28 年 12 月 15 日 (完成) | 株式会社 江口組 |



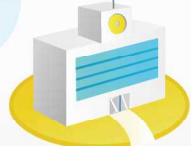
○維持管理等に関する軽微な作業は除く

※ 地図上に描かれている番号について、赤字は「新規」、黒字は「完成箇所または継続箇所」を示しています。

総合学習を行いました

11月10日(木)に小松市立第一小学校5年生の総合学習に金沢河川国道事務所の職員が小学校を訪れ、梯川の環境や生き物、梯川の歴史やこれまでに起きた災害などについてお話をしました。

子供たちは、日ごろ思っていた梯川に関する疑問を質問するなどして、梯川に関する理解を深めました。



Q:今までに何回の災害がありましたか?

A:これまでの洪水は28回です。記録に残っている最も大きな洪水(昭和8年7月)では、当時梯川に架かっていた橋のほとんどが流されてしまい、床上や床下に浸水した家屋が1549戸であったと記録に残っています。

Q:梯川に珍しい生き物はいますか?

A:ウナギのような細長い体をしているスナヤツメやカワヤツメという珍しい魚が棲んでいます。

Q:どのような種類のごみが多いのですか?

A:家庭ゴミ、空き缶・ペットボトル、テレビ・冷蔵庫等の電化製品が多く見られます。



平成 28 年 11 月 10 日
総合学習にて

お問い合わせ先

国土交通省金沢河川国道事務所調査第一課 TEL076-264-8800(代表)

小松出張所 TEL0761-23-4000

ホームページ <http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/>

広報「かけはしがわ」は、ホームページでもご覧になれます。



国土交通省 北陸地方整備局

金沢河川国道事務所

